

全 員 協 議 会 会 議 録 (平成23年4月25日開催)

- I 日 時 平成23年4月25日(月) 13時00分～14時25分
II 場 所 滝沢村役場 4階 中会議室
III 出席者 議 長 角掛邦彦 (欠席 副議長 川原 清)
議 員 相原孝彦議員他19名
村当局 柳村村長、南副村長、盛川教育長、佐野峯企画総務部長、中村財務課長、太田住民環境部長、釜沢防災防犯課長
事務局 中道局長、高橋次長、熊谷主任主査

IV 協 議

1 開 会 中道局長

2 挨 拶

角掛議長…ご苦労様です。川原副議長は昨日検査入院しましたので本日は欠席となります。先日、県の町村議会議長会の政務調査会がありまして、その中で全国町村議会議長会から県内22町村に対しまして3万円の義援金をいただいたことを報告しますとともに被災された町村の議会議長・議員の皆様へとメッセージをいただいておりますので、後ほどお目とおしいただければと思っております。本日9時から村政調査会が開かれております。後ほど佐々木会長から内容等報告いただきますが、義援金関係と村政調査会の会費の協議がなされておりますので宜しくご協議のほどお願いします。また、10時からは議会運営委員会が開かれまして、議員の任期延長に伴う発議案3件の審議をいただいております。これも後ほど各議員から審議いただきたいと思っております。本日の説明事件であります。先日の全協で説明ありました震災被害の対応のその後とそれに伴う補正予算の専決の中身と今後の補正の案件について、各担当課長より説明がありますのでご協議のほど宜しくお願いします。

柳村村長…ご苦労様です。私からは4月8日の全協以降の動きについて説明させていただきます。4月11日に盛岡広域市町村懇談会がありました。その席上において今後盛岡広域として統一したキャンペーンを行っていくことから、キャッチフレーズ等を統一した物にして5月からの各イベント等で活用することになりました。被災地の廃棄物の受け入れ処理についての会議が持たれておりまして、盛岡市が中心となりまして岩手県市町村清掃協議会のところで話し合いが行われまして、それぞれ受け入れ能力がどのくらいあるのかと今後のことについて話されました。組合の受け入れ処理能力は日量25トンで年間7,000トンとなりますが、県全体でも日量164トンで年間80,000トンであるが、岩手県沿岸部のゴミが580万トンと言われており県内で処理できる量ではありません。更に一般生活ゴミの処理も加えますと相当量の処理となるので具体的になりましたら組合では、議会並び地域住民に説明をしてご理解ご協力を得たいと考えております。お山の湯についてであります。4月22日をもちまして自衛隊が退去しましたので4月27日から通常営業を再開します。IPUイノベーションセンターへの入居についてであります。3月中に2社と調印し4月中の入居の予定でしたがIPUイノベーションセンターも震災被害を受けたことから4月いっぱい修復が終了することから、今後「アイネット」という会社と5月10日に立地調印式を行います。もう1社の「ピーふる」とは調印式は未定であります。6月からの入居予定となっており、そのことから12部屋中7部屋8企業が進出となっております。沿岸部からの避難者受け入れとして村内の個人宅・雇用促進

住宅・アパートに多くの方が来ておりますが、この方々に水道料金と下水道使用料金の減免を実施することとして4月28日の臨時会に8,478万円の予算をお願いする予定となっております。これは個人宅は通常の使用料を上回る料金と雇用促進住宅・アパートは全額を4月から3月までの1年間の減免を考えているところであります。チャグチャグ馬コの行進についてでありますがおこなうことで調整しておりましたが、しかしながら現在警察官等が被災地の対応により通常の交通規制等が出来ない状況にあり行進コースの短縮の要望があります。村内では通常コースの村役場を経由せず蒼前神社から滝沢ニュータウンを経由して青山町に入り市内の県庁や中央通を経由せずに大通りを通るコースで1時間程度の短縮になる予定であります。通常チャグチャグ馬コまつりが1週間前におこなわれておりましたが同日開催にして併せて復興祈願祭として、沿岸から避難している雫石町内などにいる方たちも招待して滝沢村から復興の「のろし」を上げ、全国にアピールしたい。4月29日の鞍掛山山開きでは山頂で万歳三唱ではなく「がんばろう！」を三唱で復興祈願登山として、7月1日の岩手山山開きも同様の復興祈願登山として「がんばろう！岩手」を全国にアピールしたい。

3 説明事件

(1) 村報告事項

東日本大震災津波被害の対応について (その2)

(説明員：太田部長、釜沢課長)

1 滝沢村災害対策本部から

- (1) 平成23年3月11日 14時46分 東北地方・太平洋沖地震発生により
滝沢村災害対策本部設置
- (2) 滝沢村内被害状況 (平成23年4月22日現在)
- (3) 避難所運営 3月11日から16日まで開設、最大14箇所712名が一時
避難。延べ1,573名

2 東日本大震災津波被害滝沢村救援対策本部 (平成23年3月23日設置) から

- (1) 各種支援等 (4月22日現在)
- (2) 沿岸部からの避難者受け入れ状況
 - ア 個人宅 108世帯227名
(内村内転校：小学生14名、中学生2名、合計16名)
 - イ 雇用促進住宅 4戸13名入居

東日本大震災津波対策予算対応

1 村内地震対策に係る経費	95,506千円
2 村外被災地支援対策に係る経費	17,253千円
対策経費合計	112,759千円

東日本大震災津波被害への対応 (3月11日から4月22日まで)

※以上を踏まえて、資料により細部にわたり説明がなされた。

<質疑>

高橋寿議員…先程村長からチャグチャグ馬コ当日の馬コまつりの話がありましたが、被災されてこちらに来ている方を招待したいとのことですが、たとえば400人

として1人2千円とすれば80万円ですが、商品券として発行するならば出店者は売り上げの10%を義援金として差し上げたいとの提案が出ていますので考えていただければと思います。

柳村村長…計画するに当たってそのことも考えましたが、予算としては見ておりませんでしたので検討させて下さい。当初予定していた6月5日のまつりの経費を全てを当日に持ってくることで当然本番の行進も行なわれておりますので、そのことから職員だけでは対応が難しいと思うことから学生ボランティアなどを多く動員してスタッフジャンパーを作成しながら、震災後3ヶ月目を迎えることから村民運動として盛り上げ復興の「のろし」を滝沢村から上げる為に今後団体等と詰めてまいりたい。盛岡は盛岡で色々考えて来ると思うので滝沢村では雫石に避難されている方も招待したいと考えているところです。様々な企画については地元商工振興会等の方々と打合せをする中で詰めてまいりたい。

武田猛議員…只今説明のありました東日本大震災津波対策予算で災害予算ですので国や県の補助が来ると思われますがどのくらいを見ているのか。

中村課長…予算で3月22日付けで10,925千円、4月11日付けで75,368千円の予算を編成しております。特定財源につきましては4月11日付けの予算で道路復旧につきましては公共土木災害復旧事業費負担金として国から負担金が入ってまいりますし、また、それに伴いまして同事業に対しまして公共土木災害復旧事業債の起債が充当になります。今後4月28日に予定しております特にも災害救助費にかかわるものにつきましては被服寝具その他生活必需品・被災児童生徒用学用品と被災住宅応急修理工事費については災害救助負担金として3,768千円として特定財源として見ております。今時点では道路事業として29,300千円で災害救助費関係で3,760千円程を予算計上しております。

相原議員…チャグチャグ馬コまつりの件については非常に良い事だと思った。また、被災関係で歌謡チャリティーとして施設減免の関係で担当課に聞いたが、減免の線引きがはっきりしないとのことでしたが線引きのガイドラインを打ち出して欲しいのですが。

佐野峯部長…施設使用手数料の関係で内部で議論になって大震災を目的とするチャリティーであって、その相手方をどの対象とするのかで広く被災されている方を村内施設利用で遣り方で一つ一つ判断しなければならないと思いますが近々については個別にお答えしたい。ガイドラインについては担当課だけで判断するのではなく役場内で共有して協議して決めたい。事案があるのであれば相談して下さい。

(2) 議会関係事項

①議会運営委員会報告について

山谷議会運営委員長より、議会運営委員会報告書により説明がなされた。

<質疑>

高橋盛議員…震災関係の表現はどうなるのか。東日本大震災とか東北地方太平洋沖地震とかがある訳ですが。

中道局長…地震発生直後におきましては東北地方太平洋沖地震でありましたが4月1日以降につきましては東日本大震災に伴うものとなっております。

高橋盛議員…今回の発議の名称については(東北地方太平洋沖地震に伴う議員の任期延長による経過措置)に伴ってしか使えないのか。

中道局長…現在の特例措置に関する法律は地震の名称で作られた法律でありますので、その延長に伴っての措置でありますのでこの名称により発議に使用する名称となっております。

高橋盛議員…今回の震災関係での決議などの話し合いは議運としてはありませんでしたか。

山谷議員…そのような意見もありまして議会運営委員会でも協議しましたが、午前9時から村政調査会の会議で義援金等の協議があったことをお聞きしましたので議運としては協議をしませんでした。

角掛議長…高橋盛議員がおっしゃられているのは、たとえば議員発議での国に対しての意見書や議会での決議での文章がどうなのかの話ではなかったでしょうか。それについては、全国の町村議会議長会の方で決議のかたちで出されておりますし県の町村議会議長会の方では要請・要望書を全国の方に出しております。私たちの議会ではどうするかについては4月28日には間に合わないのかなと思っており6月定例会に向けて議運で文面等を協議してまいりたいと考えております。

②議員発議について（説明員：中道局長）

発議第1号 滝沢村議会委員会条例の一部を改正する条例の一部を改正することについて（案）

発議第2号 滝沢村議会の政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正することについて（案）

発議第3号 滝沢村議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正することについて（案）

※ 資料により説明がなされた。

【暫時休憩：13：50～14：00】

<質疑>

角掛議長…以上の発議3件については、提出者に山谷 仁議員で賛成者に議長・副議長を除く議員全員とすることによろしいでしょうか。

議員一同…異議なし。

③その他

柳村議員…特例期間ではありますが、今後の議会予定をお知らせ願いたい。

角掛議長…後ほど議会事務局からお知らせするようにします。

佐々木村政調査会長…本日、午前9時より村政調査会の会議を開催しておりますので中道局長から内容を説明させます。

中道局長…大きく3件ほど協議をしていただきました。1点目は、当面の事業計画については6月定例会終了後に懇親会は実施する。2点目は、村政調査会の会費については従前どおりの月5千円を5月から徴収する。3点目は、被災地への義援金については議員各1万円と全国町村議会議長会からの義援金3万円を加えた25万円を沿岸7町村にやることで決まりました。

議員一同…異議なし。

角掛議長…義援金の預け先については県議会議長会か沿岸7町村に個々に支給するかについては議長の私と佐々木村政調査会長に一任願いたいと思いますが、宜しいでしょうか。

議員一同…異議なし。

角掛議長…議員の任期延長に伴い、議会選出監査委員・盛岡地区衛生処理組合議会議員・盛岡地区広域行政事務組合議会議員・県後期高齢者医療広域連合議会議員・雫石・滝沢環境組合議員の議会選出議員については任期満了まで延長することで異議ございませんでしょうか。

議員一同…異議なし。

事務連絡について（中道局長説明）

- ・地域防災計画を返却していない議員については至急返却をお願いします。
- ・全国町村議会議員互助会の加入申し込みについて、昨年8月に議会運営委員会・全員協議会でご協議いただきましたので、1口1人1,500円で加入いたします。
（議員一同…異議なし）
- ・村県民税の特別徴収についてのお願い（中道局長・三上税務課長説明）

<質疑>

桜井議員…従前村県民税については翌年に徴収されているが今後はだぶって徴収されるのか。

三上課長…徴収期間が普通徴収が4期から特別徴収の12期になるだけで額については変更ございません。

武田猛議員…合算申告している場合については特別徴収しなくてもよろしいのではないか。

三上課長…基本的には給与についての特別徴収ですので、議員報酬については特別徴収されるのが税法上の決まりとなっております。その他の農業収入や給与収入についても合算して徴収する方法もできます。

高橋盛議員…以前に固定資産税などの口座からの徴収があったと思うが。

三上課長…今回については村県民税の特別徴収だけのお願いであります。

角掛議長…強制でありますので特別徴収が嫌だという議員については後ほど議会事務局に申し出て下さい。

4 閉 会 中道局長 （終了14時25分）